



日米大学連携 国際ワークショップ

入場
無料

「地域における大学・学生の役割」

参加対象
学生・大学教職員
NPO職員・行政職員
企業関係者・社会起業家等

プログラム

午前の部:大学の地域貢献を促進するには?

- ・ TOMODACHIプログラム・米国4大学等視察報告
- ・ 基調講演 「地域における大学の役割
～世界の潮流と日米の事例～」
- ・ グループディスカッション 「地域における大学の役割とは?」

午後の部:大学・学生は地域と連携して何が出来るか?

- ・ 基調講演「災害復興に対する大学の取り組み」
- ・ パネルディスカッション・グループディスカッション
「大学・学生は地域と連携して何が出来るか?」

日時 2014年7月10日(木) 9:30～18:00
午前・午後の部 9:30～12:00・13:00～18:00

※英日逐次通訳つき

場所 東北大学川内南キャンパス
文科系総合研究棟11階大会議室 (地図25番)

主催 東北大学大学院経済学研究科・経済学部
Innovations in Civic Participation / TOMODACHI イニシアチブ

共催 在札幌米国総領事館、東北大学高度教養教育・学生支援機構、東北大学国際交流課

後援 仙台市、河北新報社、復興大学災害ボランティアステーション
大学間連携災害ボランティアステーション、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

*事前申込制

先着順 定員:午前・午後 各90名
(定員に達し次第締切らせていただきます)

お問合せ 担当:東北大学 非営利組織論(西出)ゼミナール
詳細は西出ゼミFacebookページからご覧いただけます

お申し込みはこちらから

<http://goo.gl/Woy4gG> or

b2eb1038@s.tohoku.ac.jp

西出ゼミ Facebook



↑ 仙台駅からのアクセスは上のQRコードから

プログラムの概要

午前の部

開会挨拶:東北大学 植木俊哉 来賓挨拶:在札幌米国総領事館 セオドア・ディール氏

1. TOMODACHIプログラム・米国視察報告:2月にアメリカを訪問した東北大学の西出優子と玉川努が、アメリカの大学・学生の市民活動と社会的起業の最新トレンドについて報告します。
2. 基調講演:はじめに、世界各地の大学機関による市民活動促進のトレンドをスーザン・ストラウド氏にお話いただきます。つづいてアメリカの大学機関による市民活動を促進する取り組みについて、エイミー・コーエン氏に講演していただきます。最後に東谷篤志が、東日本大震災からの復興に向けた取り組み、地域における大学の役割についてお話いたします。
3. グループディスカッション:大学機関の目的を達成するための戦略の一つとして、大学はどのように市民活動に関わるべきかを参加者同士で議論します。

午後の部

開会挨拶:東北大学総長 里見進

1. 基調講演:アメリカ南部に深刻な被害をもたらしたハリケーン・カトリーナをはじめとした多様な災害に対し、米国の大学がどのように地域を巻き込んで復興活動に取り組んできたかについてエイミー・コーエン氏に講演していただきます。「災害復興」をキーワードに、災害時やその復興に向けて大学がいかに行動し、どのような役割を果たしてきたのかを学びます。
2. パネルディスカッション:コーエン氏、大橋雄介氏、菊池遼の3名をパネリストとして、NPOの設立や学生ボランティアを巻き込んだ事業展開、学生による市民活動と行政や企業との連携など、様々な事例を紹介し、大学は地域と連携して何が出来るかについて議論します。(モデレーター:スーザン・ストラウド氏)
3. グループディスカッション:いくつかのグループに分かれて参加者が地域貢献や市民活動の促進に向けた議論を通し、次に向けたアクション・プランを考えます。

※当日のプログラムには若干の変更が生じる可能性があります。

スピーカー



セオドア・ディール氏

(在札幌米国総領事館 広報・文化交流担当領事)



スーザン・ストラウド氏

(Innovations in Civic Participation 創設者・代表)



エイミー・コーエン氏

(ジョージ・ワシントン大学 市民活動・公共サービスセンター長)



大橋 雄介氏

(NPO法人アスイク 創設者・代表理事)



里見 進

(東北大学 総長)



植木 俊哉

(東北大学 理事(総務・国際展開・業務運営改革担当))



東谷 篤志

(東北大学高度教養教育・学生支援機構
課外・ボランティア活動支援センター長)



西出 優子

(東北大学大学院経済学研究科 准教授)



玉川 努

(東北大学大学院経済学研究科 博士課程前期)



菊池 遼

(東北大学大学院経済学研究科 博士課程前期)

WORKSHOP SPEAKER PROFILES

午前の講演:はじめに、世界各地の大学機関による市民活動促進のトレンドをスーザン・ストラウド氏にお話いただきます。つづいてアメリカの大学機関による市民活動を促進する取り組みについて、エイミー・コーエン氏に講演していただきます。最後に東谷篤志が、東日本大震災からの復興に向けた取り組み、地域における大学の役割についてお話いたします。

午後の講演:アメリカ南部に深刻な被害をもたらしたハリケーン・カトリーナをはじめとした多様な災害に対し、米国の大学がどのように地域を巻き込んで復興活動に取り組んできたかについてエイミー・コーエン氏に講演していただきます。「災害復興」をキーワードに、災害時やその復興に向けて大学がいかに行動し、どのような役割を果たしてきたのかを学びます。

パネルディスカッション:コーエン氏、大橋雄介氏、菊池遼の3名をパネリストとして、NPOの設立や学生ボランティアを巻き込んだ事業展開、学生による市民活動と行政や企業との連携など、様々な事例を紹介し、大学は地域と連携して何ができるかについて議論します。
(モデレーター:スーザン・ストラウド氏)

エイミー・コーエン 氏



ジョージ・ワシントン大学 市民活動・公共サービスセンター長。ワシントンDCにおいてコミュニティサービス関連の市政や地域開発に関わってきた。サービスラーニングの連邦政府プログラムであるラン・アンド・サーブ・アメリカやペンシルヴァニア大学、全米ユース・リーダーシップ協議会、セーブ・ザ・チルドレン等に携わってきた。地域貢献やグローバルリーダー、起業家等の人材育成を行っている。

スーザン・ストラウド 氏



Innovation in Civic Participation (ICP)の創設者・代表。世界各地において革新的で優秀な若者の支援や市民参加プログラムの開発を行っている。ICP設立前はホワイトハウスにおける上級顧問等を歴任。AmeriCorps、キャンパス・コンパクト、世界320の大学が加盟するタロワール・ネットワークの創設等、世界の大学・学生の市民活動を促進する様々な組織の立ち上げや仕組み化に関わってきた。

セオドア・ディール 氏



在札幌米国総領事館広報・文化交流担当領事。2013年8月に在札幌米国総領事館に着任。以前は、ベトナムのホーチミン・シティにて広報・文化交流担当領事代理および副領事、ワシントンDCのイラク部にて政治担当官として勤務。国務省入省前は、学術および異文化コンサルティングに従事し、教師人事交換プログラムにて4年間東京で過ごした経験もある。本ワークショップにて、来賓挨拶・クロージングコメントを行う。

大橋 雄介 氏



NPO法人アスイク創設者・代表理事。福島市出身。筑波大学卒。株式会社リクルートマネジメントソリューションズのコンサルタントとして、大手企業に対する組織開発のコンサルティングに従事した後、2010年3月に独立。ソーシャルビジネスの起業支援やネットワーク形成プロジェクトを担ってきた。震災に遭遇し、アスイクを設立。設立から現在までの3年間で、400人以上のボランティアとともに活動してきた。

WORKSHOP SPEAKER PROFILES

開会挨拶:午前には東北大学理事植木俊哉が挨拶いたします。午後は東北大学総長里見進が挨拶し、東北大学の地域連携政策や震災復興への取り組み等についてお話いたします。

TOMODACHIプログラム・米国視察報告:2月にアメリカを訪問した東北大学の西出優子と玉川努が、アメリカの大学・学生の市民活動と社会的起業の最新トレンドについて報告します。

植木 俊哉



東北大学理事(総務・国際展開・業務運営改革担当)。大学間交流協定の締結や世界の主要大学が参加するコンソーシアムにおける積極的な活動等により、東北大学のグローバル・ネットワークの構築に貢献してきた。本ワークショップにて午前の開会挨拶を行う。

里見 進



2012年4月、東北大学総長に就任。震災時には、東北大学病院長として陣頭指揮を執り、地域医療の中核として全国の病院とも連携した医療支援を行なった。現在は里見ビジョンとして七つのプロジェクトを掲げ、社会連携、震災復興、地域に根ざした社会・くらしの再生の促進等に力を注いでいる。本ワークショップにて午後の開会挨拶を行う。

東谷 篤志



東北大学高度教養教育・学生支援機構課外・ボランティア活動支援センターのセンター長を務める。課外活動、ボランティア活動の促進を図るプログラムの開発を行っている。本ワークショップにて午前の講演を行う。

西出 優子



東北大学大学院経済学研究科 准教授。非営利組織論や基礎ゼミ「地域復興とボランティア活動」を担当。NPOの経営や人材育成、ソーシャルキャピタルと市民社会などが教育・研究・貢献のテーマ。NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター理事。

玉川 努



東北大学大学院経済学研究科 博士課程前期一年。事業会社勤務後、NPO法人ETICにて人材を通じた東北の社会起業家支援に従事。その後、社会事業の立ち上げ等を経て、研究の世界へ。研究のテーマはソーシャルキャピタル(社会関係資本)。

菊池 遼



東北大学大学院経済学研究科 博士課程前期二年。震災後にNPOの重要性を知り、現在はNPO法人の財政問題に関する研究をしている。研究活動以外にも、TEDxTohoku、NPO法人メディアージ、被災地でのスタディツアー企画・運営など、学内外で東北の活性化を図る活動に幅広く関わっている。